

若いなかま

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp
ホームページ : http://www.fayd.jp/



平成24年度「家庭の日」「オアシス運動」ポスターの部 最優秀作品
宗像市立河東中学校2年 坂田 七海さんの作品

目次

特集 福岡県青少年プランの紹介	2
平成25年度通常総会開催	3
青少年育成活動で表彰	4
永年賛助会員に感謝状贈呈	5

平成25年度事業計画	6
さわやかボランティア	7
青少年の健全育成を考える 「青少年育成考」	8
事務局だより	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

特集 ①

福岡県青少年健全育成総合計画 (福岡県青少年プラン)

豊かな心と志を持つたくましい青少年の育成をめざして

家庭、学校、地域、行政、それぞれが責任を果たしながら、連携して、社会全体で青少年を育む福岡県をめざす

近年、青少年を取り巻く状況はいじめや児童虐待など、個別の対応を必要とする事案も含めて大きく変化してきている。そこで、青少年の健全育成を推進するため策定された今後5年間（平成25年度～29年度）の青少年育成方策の基本となる新たな「福岡県青少年健全育成総合計画（以降「福岡県青少年プラン」と言ふ）」を3回に分けてとりあげる。

5年ごとに策定している「福岡県青少年プラン」は、県の知事部局・教育庁・県警本部の42部局が関わる青少年方策の基本となる。基本理念を

「家庭、学校、地域、行政、それぞれが責任を果たしながら、連携して、社会全体で青少年を育む福岡県をめざす」

とし、具体的には青少年の健全育成の施策を3本柱を中心に展開している。この施策は大きな流れを体系づけるものであり、個別の施策については、それぞれの担当課が取り組んでいる。

まず、柱のIでは、「次代を担う青少年の育成」

に取り組む事を掲げ、青少年の心身の発達段階に応じた諸取り組みを三つの基本目標に定めている。

目標の一つには「健康な心と体を持つたくましい青少年の育成で、そのための方策として「家庭教育力の向上」「学力の向上」「体力の向上」等を明示している。

二つには「社会ではばたくための力の養成」をあげ、そのための方策として「社会的自立に向けた能力の養成」「メディアの適切な活用とメディア・リテラシー教育の推進」「国際的な視野の涵養」「体験学習、キャリア教育、職業教育の充実」等を明示している。

目標の三つ目は「豊かな心とチャレンジ精神を育む機会の提供」をあげ「心の教育の充実」「志を育む教育の推進」等実効の方策としている。

次に柱のIIでは、「個別の対応を必要とする青少年への支援」

に取り組むとし、様々な問題を抱える青少年やその家族への支援の必要性を明示している。青少年の状況に応じた個別の支援を目標にあげ、「立ち直り支援」「不登校、中途退学対策」「ひとり親家庭への自立支援」等を方策としている。また、二つ目の目標に「青少年の被害・加害防止保護」を掲げ「いじめ対策、犯罪防止」「児童虐待防止対策」等が方策として明示してある。

最後に、「ふくおかを育む絆づくり」

を柱のIIIとし、青少年健全育成を社会の構成員すべてが連携して取り組むことを求めている。この柱には家庭・学校・地域・行政の連携を目標とし、「青少年アンビシャス運動と教育力向上福岡県民運動の推進と連携」「市町村や関係機関との連携等」をその方策としている。二つ目には青少年を健やかに育成するための地域社会づくりを

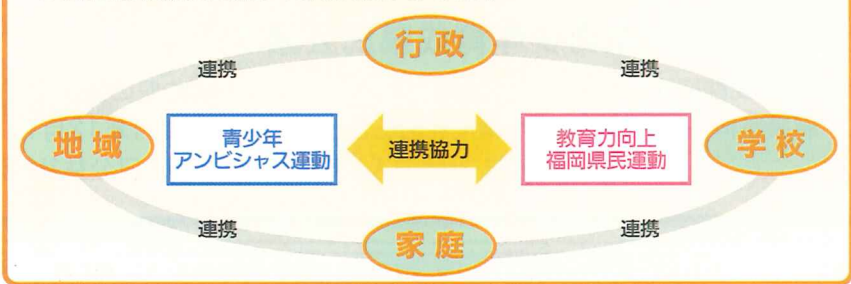
掲げ、「安心して子育てが出来る社会づくり」「安全・安心な地域環境、学校づくり」等を方策としている。

このように、今回の基本理念や新プランは、前回プランを検証し、新しい感覚で作成している。

しかし、どのような素晴らしいプランであっても実際に実行し、効果がなければ意味がない。県青少年課では、庁内の推進体制の強化とともに市町村や民間団体と連携を図りながら今まで以上の青少年の健全育成を進めていきたいと説明があった。

具体的には、国、県、市町村、その他団体などがよく連携を取って進めていく必要があること。特に青少年育成推進の前線で取り組んでいる人達が、家庭、学校、地域、行政と有機的に繋がりが、今回の青少年プランで強調している様に、福岡県民全てが青少年育成について考えていくことである。と強調された。（次号へつづく）

福岡県青少年プランのもと、めざす青少年像を具体化していくために、2つの県民運動を車の両輪として相互に連携協力させ、青少年の育成を進めていきます。



公益社団法人として、新たな第1歩！

公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議 定時総会 開かれる

とき：平成25年5月30日(木) ところ：博多サンヒルズホテル

当県民会議は2年前から取り組んできた公益社団法人移行の手続きが完了し、平成25年4月1日から公益社団法人福岡県青少年育成県民会議として、新たな一歩を踏み出すことになった。公益社団法人として初めての定時総会が、海老井悦子・福岡県副知事、福岡県議会新社会推進商工委員会・宮浦寛委員長を来賓に迎え、盛大に開催された。また総会に先立ち、これまで青少年育成に尽力された団体・個人に対する表彰と永年賛助会員への感謝状の贈呈が行われた。

変化する時代のニーズを

的確に把握し、適切な対応を！



(公社)福岡県青少年育成県民会議会長 右 田 喜 章

当県民会議は昭和41年に発足以来「次代を担う青少年の健全育成を図ること」を目的として長年にわたり青少年の健全育成運動を積み重ねてきた。今年には公益社団法人移行後の初めての定時総会であり、47年目の4月1日から新たな歴史を刻んでいくことになったところである。ところで、

今日の青少年の状況をみると、多くの青少年が堅実な夢を持ち、個性や能力を磨き、自らの目標に向かって健やかに成長している。その一方で、青少年を取り巻く現状は極めて厳しいものがあり、急速な少子化への進行、就業形態の多様化、情報化社会の進展により、若者を取り巻く環境も大きく変化している。違法、有害情報の氾濫、虐待や育児放棄等、子どもが被害者になる事件も多く、我々大人にも大きな責任があると思われる。この原因は近所付き合いがほとんどない、「地域での孤立」が大きな社会問題になっている。そこで、私たち青少年育成県民会議はこれまで以上に、活動の輪を広げ、「青少年のニーズ」「社会のニーズ」を的確に把握し、国や県、各団体と歩調を合わせて適切な対応をとる必要がある。

新しい青少年プランを策定

豊かな心と志を持つ逞しい青少年の育成をめざす



福岡県副知事 海老井 悦 子

青少年を取り巻く時代の変化に対応すべく、平成25年3月に新しい青少年プランを策定した。プラン策定には県民会議から多大な協力を得て心より感謝申し上げます。新プランでは、青少年が相手のことを尊重し、互いの多様性を認め、思いやりの心をもって社会的な自立を果たせるよう

豊かな心と志を持つたくましい青少年の育成を目指している。次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長し自立した大人になることは、県民すべての願いである。福岡県として、皆様と同じ目標の下、家庭、学校、地域、行政それぞれが責任を果たしながら連携して社会全体で青少年の健全育成に取り組んでいきたい。県民会議は今年度より公益社団法人として新しい出発をされる。これまで培ったものを継承し、新たな時代に対応した青少年の健全育成に対する取り組みを続けていただきたいし今後の活動に大いに期待する。

青少年の健全育成が

県政の重要課題



福岡県議会
新社会推進商工委員長
宮 浦 寛

人間関係が希薄化している近年、東日本大震災を契機と

して地域や家族との絆、人と人とのつながりの大切さが再認識されている。青少年においても現地でのボランティア活動をはじめ「被災地のため」に何ができるのかを自ら考えさまざまな形で励ましや思いやりの心を届ける活動が続いている。本県の意識調査においてもボランティア活動や社会貢献に対する青少年の意識が高まっている。県議会としてもこのような青少年の思いや希望を的確に捉え、豊かな人間性を涵養し、たくましく健やかな成長を育むべく活動を推進していくことが重要であると考え。県議会として青少年の健全育成を重要課題と捉え、青少年育成の関係団体や県民会議と手を携え、様々な青少年施策の充実に向け、鋭意取り組んでいきたい。また本日、功労賞表彰、永年賛助会員感謝状を受けられる皆様には心より敬意を表したい。

表彰おめでとう！

12 個人と 6 団体に表彰状が
2 団体 7 個人に感謝状が贈られる！

青少年育成に関わり、優れた活動に対し贈られる表彰が、総会議事に先駆けて、永年にわたる青少年育成活動をした功労者と、永年賛助会員に表彰状と感謝状が贈られた。

〔個人表彰〕

★下川 正春氏 活動年数／13 年（久留米市北野町）
平成12年から久留米市合併前の旧北野町において校区民会議会長等を歴任し、青少年健全育成活動の中心的存在として活動。市合併後も久留米市青少年育成市民会議の理事として活動している。

★増井 壽典氏 活動年数／28 年（飯塚市庄司）
昭和60年から幸袋地区青少年健全育成委員、幸袋地区子ども会指導者連絡協議会会長、飯塚市青少年健全育成連絡協議会理事、NPO 法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会理事等の要職に従事するとともに、飯塚市少年相談センター補導員、保護司として青少年の健全育成と非行防止に尽力され、親身な指導により多数の少年を善導している。

★二場 浩隆氏 活動年数／30 年（田川市大字奈良）
昭和58年に設立された田川市青少年育成市民会議から平成14年に名称変更した、田川市青少年育成連絡協議会のメンバー、役員として青少年健全育成運動に携わり、平成19年からは田川市青少年育成連絡協議会の会長として率先垂範し、田川市の青少年健全育成に多大な貢献をしている。

★林 征博氏 活動年数／30 年（行橋市南大橋）
昭和58年から子ども会役員として現在まで子ども会等の諸行事を通して青少年の健全育成に情熱を持ち活動を続けてきた。平成14年からは川島区長として、地域の防犯・交通安全・環境浄化活動を積極的に取り組み、特に青少年の健全育成・非行防止を目的として、通学路での声かけ運動、防犯活動等で一丸となつて取り組んでいる。



永年表彰を受けた12個人の皆様

★岩生 健治氏 活動年数／20 年（行橋市行事）
平成5年から行橋北小学校 PTA 理事、同副会長、行橋中学校総務委員長等を歴任し、子どもたちとの交流を深める。平成6年から校区子ども会育成連合副会長、7年から同会長として現在に至るまで青少年の健全育成に情熱を持ち活動してきた。平成7年から行橋市青少年育成市民会議の委員として青少年育成・非行防止活動に積極的に参加している。

★田中 良幸氏 活動年数／32 年（大任町大字大行事）
昭和56年大任町青少年育成町民会議の発足から現在に至るまで同会議会長として、青少年が健やかに成長できる環境作りに尽力。昭和58年からは町議会議員としても活動し、青少年の健全育成に効果的な施策を実施している。

★池谷 正明氏 活動年数／11 年（行橋市下檢地）
平成14年から行橋警察署の少年補導員として、行橋市青少年育成市民会議の委員として積極的に青少年の健全育成並びに市民会議の発展に多大な貢献をされている。平成17年からの3年間は延永校区青少年育成協議会の実行委員長として、子どもの非行防止キャンペーン等を計画し、子どもを含め、校区民でパレードを実施。平成16年からはアンビシャス広場の委員として子ども達の安全見守りを行っている。

★萩尾 正憲氏 活動年数／13 年（太宰府市国分）
平成12年から現在に至るまで、市議会議員や国分区分自治会長を務める傍ら、国分小学校人口交差点において、毎朝登校する小学生の見守り活動を行い、交通安全のほか、子ども達への声かけなどを行っている。

★齋藤 博子氏 活動年数／13 年（宇美町ゆりが丘）
平成13年から平成21年まで、仲山区育成会長として子ども会事業の企画運営に携わり、会長として子ども会育成会を取りまとめ、健全育成に貢献。平成12年から20年まで宇美町子ども会育成会連絡協議会役員として連絡協議会の主催事業の企画・準備・運営に従事し、ジュニアリーダー育成にも多大な貢献をする。平成20年から現在に至るまで、子ども会育成会連絡協議会会長として各行政区子ども会と連携し、宇美町の子どもの健全育成に取り組んでいる。

★田中 良幸氏 活動年数／32 年（大任町大字大行事）
昭和56年大任町青少年育成町民会議の発足から現在に至るまで同会議会長として、青少年が健やかに成長できる環境作りに尽力。昭和58年からは町議会議員としても活動し、青少年の健全育成に効果的な施策を実施している。

★香本 敏典氏 活動年数／40年（赤村大字内田）

昭和48年から赤村子ども会育成連絡協議会会長として40年間子ども会活動、青少年育成活動に尽力。平成17年から田川郡子ども会育成連絡協議会会長、平成8年から21年赤村青少年健全育成村民会議会長、福岡県子ども会育成連合会理事等に就任し、地域活動、PTA活動等積極的に学校運営と連携して活動を展開。近年は後進の育成にも積極的に取り組んでいる。

★三角 主計氏 活動年数／30年（苅田町近衛ヶ丘）

昭和58年から苅田町近衛ヶ丘区長として地域の防犯・交通安全・環境浄化に取り組みとともに、毎朝の声かけ活動、交通安全指導・青色パトロールカー添乗、訪問パトロール活動に従事。平成15年より苅田町青少年育成町民会議副会長として、青少年健全育成活動の計画・運営、実施に取り組み、社会教育委員としても永年にわたり貢献。平成22年からは県民会議理事として県民運動に貢献している。

★長田 祐汪氏 活動年数／44年（苅田町近衛ヶ丘）

昭和44年から行橋警察署苅田支部少年補導員として、青少年活動に従事。平成23年から苅田町青少年育成町民会議理事長、環境部会役員として青少年の健全育成活動のため町内危険箇所及び「少年を守る日」を設定し巡回活動。JR苅田駅での中・高校生への声かけなどの青少年の健全育成活動に活躍している。

【団体表彰】

★太宰府市立太宰府中学校PTA地区委員会

代表者 田村 成寛（太宰府市）

昭和54年の設立時から現在に至るまで夜間パトロール、市内巡回街頭補導、天満宮夏祭りや政庁まつりでのパトロール等のほか、太宰府中学校での職員・生徒

との協働で毎朝のあいさつ運動に参加している。

★太宰府市立学業院中学校PTA生活指導連絡協議会

代表者 竹崎雄一郎（太宰府市）

平成5年学校・保護者・地域で連携して学業院中学校生の非行防止及び健全育成を目指し設立されてから毎月第2金曜日に定例会を開催し、学校内外の現状の情報交換を行い、その後、夜間パトロールを実施し、ゲームセンター、カラオケボックス、街頭等において非行防止活動を行っている。



永年表彰を受けた6団体の代表者の皆様

★糸島地区子ども会指導者の会

代表者 泊 武人（糸島市）

平成13年地域、校区、市等において子ども会活動の指導強化を目指し結成されて以来10年以上に亘り、野外活動、レクリエーション等の実技指導、ジュニアリーダー研修会、校区子ども会への助言、指導、講師派遣などその活動内容は多彩である。これらの活動は糸島市の子ども会の充実、発展に大きく貢献している。

★いきいきいのっこ実行委員会

代表者 高橋 紳章（宇美町）

平成16年「いきいきいのっこ子ども教室」として開校し、放課後、週末等における子どもたちの安全な居場所づくりを推進し、タグラグビー、登山、書道等の様々な体験活動を実施することにより地域の教育力の向上を図るとともに、学校・家庭・地域の連携をすすめる。

ている。

★遠賀レクリエーションの会

代表者 田中 幸男（遠賀町）

平成15年から現在に至るまで遠賀町青少年育成町民会議事業の「ふるさと遠賀たこあげ大会」の指導協力を行い事業支援活動を実施。たこづくり出張教室やたこあげ大会を通して昔の遊びの伝承、親子・地域とのふれあい、子ども達との思い出づくりに効果を発揮している。

★一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟

代表者 西 和子

昭和39年ガールスカウト日本連盟福岡県支部として設立。運動を通して少女と若い女性が人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となるよう育成活動を展開している。青少年団体連絡協議会の構成員としても同協議会の活動に積極的に参加し、リーダーシップを発揮し主導的な行動を担っている。

【永年賛助会員へ感謝状】

今年度の永年賛助会員（10年）に左記の団体と個人に感謝状が贈られた。

（団体）(株)あらい

(株)丸信

（個人）中島 信行氏

村上 治氏

岡村 憲人氏

香月 均氏

鈴木 康敏氏

平田 美子氏

力武 暁氏



平成25年度 事業計画

1. 青少年健全育成事業

* 小・中・高校生等をつなぎ、育てる野外学習
平成25年8月7日(水)～11日(日)
国立阿蘇青少年交流の家（熊本県阿蘇市）

* 青少年囲碁交流大会
福岡県大会 平成25年8月18日(日)（福岡市）
中国江蘇省交流大会 未定

* 少年主張福岡県大会
平成25年8月24日(土)
柳川市総合保健福祉センター「水の郷」

* 福岡県民さわやかマラソン大会
平成25年11月17日(日)
海ノ中道海浜公園（福岡市）



2. 健全な家庭づくり推進事業

* 「家庭の日」「オアシス運動」の推進
作品の募集（ポスター・作文）募集
募集期間：平成25年8月～9月

* 乳幼児教育研修会
平成26年2月
基調講演、実践事例発表、研究討議

3. 県民運動推進事業

- * 九州地区会議 10月
- * 中央研修会、全国県民会議連合会総会 11月
- * 部会等委員合同会議 12月
- * 青少年育成指導者研修会 平成26年1月
- * 市町村民会議等合同研修会 平成26年3月
- * 理事会 平成25年12月・平成26年3月



さわやかボランティア

ボランティアガイド

「大刀洗町ふるさと案内人」

私達「大刀洗町ふるさと案内人」は、公民館が主催する「郷土史学級」の有志6名で始めたボランティアガイドです。

自分達が学んだものを、少しでも役立てたいとの思いから、活動を始めました。

大刀洗町には、たくさん歴史の名残がありますが、残念ながら目に見えないものは数少なく、ほとんど残っていません。

私達の役割は、その場所に案内し、来訪者の想像力をかきたてるお手伝いすることだと考え、手作りの紙芝居やペーパーサートを使って案内しています。

「何か一つでも記憶に残してお帰りただこう!!」が、私達のモットーです。



「魅力あふれる活動を」

太宰府市青少年育成市民の会

本会は、毎年2月に開かれる「人権まつりだざいふ」に展示ブースを設け事業活動を紹介しています。特に平成24年度においては、少年の主張福岡県大会が太宰府市で開催されました。その模様をDVD放映で大きく取り上げ、また、市内の小中学生から応募のあったセンスあふれる川柳の優秀作品110点の掲示や太宰府小学校区通学合宿で頑張る子どもたちの写真を紹介しました。



これからも魅力あふれる活動に取り組み、着実に成果をあげていきたいと思ひます。

地域の話題

校区内クリーンキャンペーン

芦屋町芦屋小学校及び校区育成会

年2回の校区内クリーンキャンペーンも8年目を向かえます。小学生と地域住民で構成された「芦屋小学校区育成会」のメンバーが、小学校区内をくまなく回りきれいにするというものです。

5月17日は、天候に恵まれ、汗ばむほどの気温の中、参加者は、海岸の砂浜の漂流物、幹線の歩道のポイ捨て缶、団地の公園周りのごみなどを2時間をかけて拾いました。

小学校に戻った全校児童は、学年ごとの反省会に臨みました。

芦屋小学校区育成会のメンバー30名は、「毎年クリーンキャンペーンをしているが、ごみの量は減らない。モラルの問題だろう。子どもたちと一緒にごみ拾いをして地域がさっぱりするのは気持ちがいい。いい汗をかいた。」などと口々に話していました。

小学生と地域住民が同じ作業をすることで、ことばを超えた心の繋がりが生まれる貴重な体験でした。



いつもそこに、いつでもそばに。



ココロがある。コトエがある。
西日本シティ銀行

事務局だより

主な行事(H25年3月16日~7月19日)

Table with 2 columns: Date (Month/Day) and Event Name. Includes dates from 3月16日 to 7月19日 and various committee meetings.

Table with 2 columns: Organization Name and Location. Lists various support committees like '新賛助会員' and '個人賛助会員' with their respective locations.

ありがとう 愛ちゃんと希望くん. Includes a cartoon illustration of two characters and text about the newspaper's funding.

青少年育成 考



「受け継ぐ」

公益社団法人福岡県青少年育成県民会議 理事 下茂野 和夫

昨年、出雲地方に出かけるチャンスが有り、出雲大社へお参りする機会に恵まれました。日本の神話である大蛇退治の場面神楽(備中子供神楽団)が終了し、かぶり物を取ったとき「勇猛なスサノウ舞ひ終へ面とれば中学生の男子現はる」代々受け継がれてきた伝統文化を少年が継承している姿がとても印象的で感動いたしました。

団体としての責務が求められると思います。先人先輩たちの良き思いでの慣習は守りつつ、今日の青少年が抱えているさまざまな諸問題に対応していく活動を展開し、良いものを残して次の世代へと引き継いでいくことが、現在携わっている私たちの使命だと実感しております。

広報紙 186号の訂正とお詫び. 平成25年3月15日付け発行の広報紙「若い仲間」186号において6Pの賛助会員のご紹介で「コカ・コーラウエストホールディングス」様の社名を間違えて掲載しました。正しくは「コカ・コーラウエスト(株)」様です。関係者の方々には、大変失礼をしました。改めて訂正させていただきます。心よりお詫び申し上げます。

青少年の健全育成のために 賛助会員入会のお願い. 次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議では、少年の主張大会、サマーカーンプ、マラソン大会など、様々な活動をしています。県民会議の活動に賛同いただく賛助会員の募集を行っています。会費は左のとおりです。電話(092-643-6001)いただければ、資料をお送りいたします。